

2011年3月22日作成

ここに記載されている情報は、すべて日本時間2011年3月22日午後12時時点のものです。震災を取り巻く状況は常に変化していますので、読んだ時にはすでに無効となっている情報もあり得ます。これをご了解の上、お読み下さい。

在学留学生、2011年4月入学予定留学生およびその保証人の皆様へ

東北地方太平洋沖地震への対応について

本学は2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震で被害に遭われた方々へ心よりお見舞いを申し上げます。また、お亡くなりになった方々への深い哀悼の意を表します。

1. 在学留学生と入学予定留学生の安否確認

在学留学生全員に対して、2011年3月16日に安否確認を求める電子メールを送信しました。この電子メールを受け取っていない方と入学予定留学生の方は、下記の4つの項目を国際センターメールアドレス itn@venus.joshibi.jp へ送信して下さい。

- 1) あなたの氏名
- 2) ケガや病気をしていないか
- 3) 今、どこにいるのか（日本の自宅アパート、母国の自宅、日本の友人宅、旅行先など）
- 4) 4月の新学期開始までどこにいるつもりか（日本の自宅アパート、母国の自宅、日本の友人宅など）

2. 大学からの重要なお知らせの伝達方法

大学からの重要なお知らせは女子美ホームページに掲載します。1日に一度はホームページをチェックして、最新情報を入手して下さい。それでも不明な点がある場合には、氏名を明記して国際センターメールアドレス itn@venus.joshibi.jp へお問合せ下さい。

3. 芸術学部、短期大学部の登校初日

新学期の登校初日（専攻・領域別オリエンテーション）を延期します。新しい日にちと時刻は3月26日（土）までに女子美ホームページで発表します。必ずホームページをチェックして下さい。

4. 大学院博士後期課程、修士課程の登校初日

新学期の登校初日（専攻・領域別オリエンテーション）を延期します。新しい日にちと時刻は3月26日（土）までに女子美ホームページで発表します。必ずホームページをチェックして下さい。

5. 入学式

4月7日（木）に中野サンプラザで実施する予定だった入学式は中止します。入学予定留學生が最初に大学に来る日は、延期後の新學期の登校初日です。

6. 休学、學費の延納・分納

休学の仕方や休学中の學費の金額について知りたい方、在學留學生で學費を延納か分納で支払いたい方は、氏名を明記して國際センターメールアドレス itn@venus.joshihi.jp へお問合せ下さい。

7. 本學キャンパスの状況

相模原キャンパス（神奈川県）と杉並キャンパス（東京都）の両方とも、建物と施設に被害はありません。すべて安全な状態ですので、心配しないで下さい。余震の発生、公共交通機関の運休、停電に備えて、皆さんは4月の新學期開始まではなるべくキャンパスに入らないようにして下さい。

8. 神奈川県と東京都の状況

在學留學生が住む神奈川県と東京都では建物損壊や津波の被害はありません。テレビや新聞で報道されている、東日本の太平洋側の都市での津波による壊滅的被害は全くありません。キャンパスがある神奈川県相模原市と東京都杉並区は太平洋岸から数十キロ離れた内陸部に位置しており、万一太平洋で再び津波が発生したとしても、それが到達することはあり得ません。安心して下さい。

9. 放射線放出

福島第一原子力発電所から放出されている放射線は神奈川県と東京都でも非常に微量ながら観測されています。しかし、その放射線量は人体に影響を与える量では全くありません。神奈川県や東京都で普段どおりに生活していても健康被害は全くありませんので、心配しないで下さい。これは医学的・科学的に証明されています。続いている事故は核爆発ではありません。原子炉そのものは停止しており、核反応は起こっていません。

10. 計画停電

計画停電とは、電力供給範囲を5つのグループに分け、時間差をつけて1回3時間程度、電気を止めることです。神奈川県と23区以外の東京都はその対象です。東京都23区内であっても、その外側から電力供給を受けている地区は停電することがあります。住む場所によって停電する時間帯は違います。停電予定であっても、実際は停電しないことが多くあります。自分の住居がどの停電グループに属しているか分からない場合は、氏名を明記して國際センターメールアドレス itn@venus.joshihi.jp へお問合せ下さい。大学で調査して、お知らせします。

11. 公共交通機関

ほとんどの鉄道とバスで本数を減らした運転が続いています。通常のスムーズで時間に正確な運転ではありませんので、移動に時間がかかります。突然運休することもあります。成田空港と羽田空港は通常どおり利用できます。

12. 食料品・日用品

食料品や日用品が不足していますが、心配しないで下さい。どこに行っても商品が買えないということはありません。何も買わずに食事ができないということもありません。商品の補充は回復してきています。レストランなどの外食店舗は通常どおり営業しています。

13. 燃料

石油が不足していますが、心配しないで下さい。日本から石油がなくなったわけではありません。日本には国家備蓄原油が 94 日分、民間備蓄原油が 70 日分の計 164 日分あります。また、外国からの石油輸入も通常どおり行われています。

14. 病院

神奈川県と東京都にある病院は、規模を問わず、通常どおりの診療・入院体制です。震災の被害で閉鎖した病院は一つもありません。負傷者で混乱しているということも全くありません。

15. 問合せ先

留学生活について不安に感じることや質問がある時は、氏名を明記して国際センターメールアドレス itn@venus.joshibi.jp へお問合せ下さい。

16. 役に立つリンク集

NHK ラジオニュース（日・韓・中・英 4 ヶ国語、他言語あり）

<http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/english/radio/program/16lang.html>

Earthquake Information（日・韓・中・英 4 ヶ国語）

http://eqinfojp.net/?page_id=66

東京都国際交流委員会（日・韓・中・英 4 ヶ国語）

<http://www.tokyo-icc.jp/>

文部科学省の都道府県別環境放射能水準調査結果（日本語）

http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/syousai/1303723.htm

文部科学省の都道府県別環境放射能水準調査結果（韓・中・英 3 ヶ国語）

<http://eq.yahoo.co.jp/>